

支援プログラム【事業所名:社会福祉法人あづみの森 第3あづみ園】			作成日:2024年12月20日		
法人理念	<p>(1)早期診断・早期療育 脳の発達に様々な可能性のある早い時期に、障害を発見し、個々の子どもにあった療育プログラムをたて、療育を提供します。</p> <p>(2)親と子の健全な関わりへの協力 障害をもつ子どもと、その子を育てる親が良い関係を築けるように、定期的に学習会を計画し、子育てを楽しく出来るようにサポートしていきます。</p> <p>(3)インクルージョン理念の実現 本園と地域の保育所(園)、幼稚園、認定こども園との併行保育を利用しながら、地域の子ども達が地域で育ち、育てられるように、また、最終的に地域の学校で学べるように療育します。</p>				
支援方針	<p>インクルージョンの理念に基づき、障害のある子ども達が地域社会の中で、生き生きと生活できる支援・サービスを提供します。</p> <p>①個々に対応した指導・訓練 子ども個々に合った検査を行い、年齢・ニーズ・社会適応能力等の実態を把握し、個別支援目標をたて、計画に沿って療育を行います。また、医師・心理士・言語聴覚士・保育士等関係者が一堂に会して、カンファレンスや実態交流等を行い、定期的に成長を評価して、次の目標を明確にして療育をします。</p> <p>②地域社会に開かれた施設機能の充実 児童発達支援の拠点としての機能を発揮し、毎日通園児だけでなく、併行児に対しても療育や相談、生活支援等の訓練等を積極的に行います。また、地域の保育所(園)・幼稚園・認定こども園・学校等関係機関や施設等と連携を密にし、あづみ園がもっている情報や技術を提供します。</p>				
営業時間	8:30~17:00	支援提供時間	9:30~14:30	送迎の有無	有
主な行事	・誕生日会 ・遠足 ・お楽しみ会 ・クリスマス会 など				

項目	支援内容
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○時間を意識して食事をする事ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・食べ始める前にタイマーを設定し、時間を意識させる。 ・途中で気が逸れている時には声をかけていく。 ○排泄後、肌着を整えることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・肌着の整え方を知らせ、自分で整えることができるようにしていく。 ・トイレ後に肌着を整えることを知らせ、自分で確認することができていた時にしっかりと褒めることで定着させていく。 ○忘れ物がないかを確認する事ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・朝の支度、帰りの支度の後、忘れ物がないかを確認するよう声をかけていく。 ・確認できた時、忘れ物がなかった時にはしっかりと褒めていく。
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○身体をコントロールする力を身に付ける事ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・はさみや糊を使いながら、指先の力を調整できるようにしていく。 ・力の入れ方、抜き方を経験できるような設定をしていく。 ・サーキット活動を通して、止まる、ゆっくり動く、スピードを調整するなど身体をコントロールする力を知らせていく。 ○就学に向けて運動機能を向上させる事ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・階段で足を交互に出して降りる事を意識できるよう促していく。 ・サーキットを通して、様々な身体の使い方を経験できるようにしていく。 ○視線と指先を協調させた遊びに取り組む事ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョントレーニングや迷路遊びなどを設定していく。 ・楽しみながら感覚をつかんでいけるよう、適宜、手助けをしながら成功体験へと繋げていく。 ○見本や線に注目しながら鉛筆で線や形を書く事ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・注目すべき場所がわかるように指差しや枠をつける等の支援を行っていく。 ・事前に指でなぞったり、ゴールを確認したりしてから書き進めるよう繰り返し経験していく。 ・必要に応じてビジョントレーニングを実施し、視覚情報と手先の運動を連動しやすくしていく。
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○イラストや図版などの掲示物を見て、意図を汲み取る事ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・視覚物を丁寧に説明しながら、必要情報に目が向けられるようにしていく。 ・徐々に支援を減らしていき、自発的に気づく力を育てていく。 ○身近にある物の名称を理解する事ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や学習に必要な生活用具や文房具等を重点的に取り組み、就学後に必要な語彙力をつけていく。 ・絵本クイズやフラッシュカード等を課題として設定し、繰り返し取り組む中で知識として定着させていく。 ○見る時、聞く時、待つ時を意識して行動をコントロールする力をつける。 <ul style="list-style-type: none"> ・事前に約束や頑張る事についてイラストを見ながら確認をする。できていたら、花丸等、目に見える形で評価していく。 ○最後まで見たり聞いたりして考える事ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・絵本クイズなどを行い、最後まで聞いてから考える力を育てていく。 ・お手本を見ながら取り組む制作などを行い、最後まで見てから考える力を育てていく。

<p>言語・ コミュニケーション</p>	<p>○困っている時に言葉で思いを伝える力をつける。 ・事前にイラストとともに状況に合わせた適切な言葉を知らせておく。 ・自発的に言葉で伝える事が難しい場合にはイラストを見せながらよい行動を知らせていく。</p> <p>○「一緒に遊ぼう。」と伝えて友達の遊びに入ることができる。 ・保育者が声をかけながら、友達がしている遊びに入ることができるよう促していく。 ・活動の中で様々な遊びを設定し、遊びの幅を広げていく。</p> <p>○「かして。」など言葉で伝えた後に、相手の話を聞く事ができる。 ・友達とのやりとりに介入しながら、相手の話を聞く事を知らせていく。 ・場面に応じたやりとりの方法を知らせていく。</p>
<p>人間関係・ 社会性</p>	<p>○いろいろな集団遊びを知り、ルールを理解して参加することができる。 ・簡単なルールのある遊びに参加する機会を設けていく。 ・ルールはイラストや大人の見本、友達がしている様子を見せるなどして理解ができるようにしていく。 ・設定保育で行った集団遊びを自由遊びの時間などでも、大人が介入しながら行っていく。</p> <p>○ルールのある遊びに最後まで参加することができる。 ・勝敗のあるゲームを課題として設定する。 ・様々なルールの遊びに1対1で取り組む事で、自信をもって取り組める遊びのパターンを増やし、集団場面へと般化させていく。</p> <p>○集団での約束やルールに沿って遊ぶ事ができる。 ・事前に負けた時の対処法や、約束を知らせる。 ・悔しい気持ちを我慢して遊ぶことができた時には評価し、集団のルールに沿う経験を積んでいく。 ・色々な遊びに取り組む中で勝ち負けだけにこだわるのではなく、遊び本来の楽しさを知る事ができるようにしていく。</p> <p>○勝敗のあるゲームに取り組むことができる。 ・ルールを守る事、負けた時のシミュレーション等を事前に確認していく。 ・保護者にも参加してもらいながら、家庭への般化につなげていく。</p> <p>○集団生活の中で、自分の思いを我慢する経験を繰り返し積む事ができる。 ・思い通りにならない事があっても、ルールや約束を守る事の大切さを知らせていく。(どうして我慢しなければならないのかを具体的に伝える)。 ・怒るのではなく、「まあいっか。」と思う事ができるよう促していく。 ・我慢できた時にはしっかりと褒め、評価しながら定着させていく。</p> <p>○友達の思いを聞いて、自分の思いを譲り友達の思いを受け入れる経験を積む事ができる。 ・自分の思いを伝えたら、友達の思いを聞く事を知らせる。聞いてどう思ったか確認し、譲った方がいいか譲らなくてもいいか一緒に考えていく。 ・保育者が介入せず、譲る事ができた時にはしっかりと褒め、次に繋げていく。</p>
<p>移行支援</p>	<p>○日常的な連携に加え、特に行事等の際には、説明の方法や促し方について共有を図る。</p> <p>○関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に活用するための具体策を提案する。 (関係機関連携)</p> <p>・必要に応じて併行先を訪問し、行事等、普段と異なる活動の際のこどもとの関わりについて、具体的な関わり方のモデルを示す。 ・連携会議を定期的に開催し、情報収集・役割分担について協議する。 ・各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面でのこどもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行う。</p>
<p>家族支援</p>	<p>○保護者の意向に寄り添いながら、親と子が良い関係を築いていける様、相談助言していきます。 (子育てサポート)</p> <p>・保護者の方に支援場面の見学や活動参加の機会を提供し、子どもの特性や関わり方など支援方法について、相談助言を行います。</p> <p>(個別支援)</p> <p>・個別指導の際に、園での様子を伝えたり、家庭での様子を聞きとったりし、お互いの情報交換をする事で、家庭での支援方法など相談助言を行います。</p> <p>(グループ支援)</p> <p>・定期的に学習会(支援方法・就学についてなど)を開催し、相談助言を行います。</p> <p>※必要に応じてペアレントトレーニングを実施します。</p>
<p>職員の質の向上</p>	<p>【職員研修及び障害児発達支援フォーラム】 著明な先生方を全国からお招きして講演会を行い、新しい情報を早く正確に学習することで、職員の知識や経験を常に活性化させ、子ども達の療育に反映できるようにしています。また組織の一員としてあるべき基本姿勢・技術力・人間力を高める研修を大切にしています。</p> <p>【虐待防止】 虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施(虐待防止について)</p> <p>【身体拘束】 身体拘束等の適正化の為の研修を実施(身体拘束について)</p> <p>【感染症の予防及びまん延防止】 感染症の予防及びまん延防止の為の研修を実施(感染症対策と感染症発生時の消毒方法・対応について)</p> <p>【業務継続計画】業務継続計画の為の研修を実施(BCPについて)</p> <p>【安全計画】安全計画の為の研修を実施(心肺蘇生法・応急処置)</p>